



## ゆく年くる年に想うこと

校長 渡邊 正博

「好き」を増やそう！」と活動してきた学校生活も、本日(12月26日)をもちまして冬休みに入ります。保護者・地域の皆様、本校教育活動へのご理解ご協力ありがとうございました。

年末年始を迎えると、子供の頃に観たアニメ番組のワンシーンを思い出します。正月の京都の町を一休さんが髑髏のついた杖を持ち「ご用心あれ、ご用心あれ」と叫びながら歩いていた場面です。「今日のとんちは何かな。」と楽しみにしていたので、この悲壮感あふれるシーンは怖かったような寂しかったような記憶です。「元旦は冥土の旅の一里塚 めでたくもありめでたくもなし」一休宗純の生き方を知り、自分も歳を重ねていくと、言葉の意味を少しは理解できるようになったかなと思います。「日々を大切に生きよう」と解釈しています。

大晦日は、近くのお寺で除夜の鐘をつかせていただき、そのまま近くの神社で初詣をすることをここ数年続けています。家族を誘うのですがつれないです。夜道を一人歩きながら、ゆく年くる年に想いを馳せます。家族のこと、仕事のこと、できたこと、やりたいこと…今年は何を思い浮かべるでしょう。楽しいことだけでなく、気を引き締めなくてはいけないことも頭をよぎると想像します。寒さの中、自由に想いを巡らすこの時間、嫌いではありません。兼山小の2024を思い浮かべると、皆様と子ども達、先生方への感謝の念が湧いてくることは間違いありません。2025もやりたいことがいっぱいです。

皆様、よい年をお迎えください。家族団樂の時間を大切に。やりたいこといっぱいでも焦らないで。一休さんは言っています。「あわてない、あわてない、ひとやすみ、ひとやすみ。」

子どもたち、1月7日、素敵な笑顔で会いましょう。

♪すき すき すき すき すき～“すきっ♪”を増やす2025

【兼山地区の皆様へ】  
3月25日は卒業証書授与式です。地域のみなさんで、6年生の門出を祝っていただけたら嬉しいです。ぜひ、ご参加ください。



### 12月：兼山の子どもたち

